

島前高校だより

レスリング部特集
〜島根県高校総体
団体優勝記念〜

5月28日島前高校にて、第54回島根県高等学校総合体育大会レスリング大会が実施されました。昨年度は、残念ながら団体優勝を逃したレスリング部でしたが、今年度はその栄冠を取り戻すことができました。辛く、厳しかったであろう1年間の様子を、レスリング部キャプテンである堂下翔生君に聞きました。

◆高校総体、団体優勝おめでとう。

◆今回の勝利の要因は何ですか

ありがとうございます。

今大会は「絶対勝つてやる!」というチャレンジの気持ちで練習・大会に臨むことができました。昨年度まではずっと勝ち続けていて、「勝つことがあたり前……」どこか、気持ちに緩みがあったのかもしれない。

それから、指導者として藤永先生が来てくれて練習内容が充実しました。練習で得られた自信も勝利の要因の一つだったと思います。

◆今年度から指導者が2人になり、練習はどのように変わりましたか

藤永先生は山口県から来られた先生で、レスリング経験が豊富です。藤永先生の練習は、オンとオフがきちんとしています。休憩時間が少なくなり、心拍数の上がる練習の後に横になつている生徒には「動きを止めるな。」「練習中は、体を動かし続けるように。」「というような声がかかります。それから、先生自身がスパーリングの相手をしてくれます。同級生や後輩とのスパーリングでは体験ができないパワーと技があり、スパーリング後にはアドバイスがあります。その内容は、徹底的な技術指導。その後に続くスパーリングで、修正した動きが見られると、先生はほめてくれて自分達の気持ちは上がっていきます。でも、この前はレインボービーチに行つて、ビーチフットラグをしたり、相撲をしたりして楽



君下堂を聞く藤永先生の話

しい練習も取り入れてられています。

◆この練習に河内先生が加わるとどうなるの

河内先生が練習を見に来ると、藤永先生と相談が始まり、練習内容が更に厳しいものになります(笑)。

◆学校で行われた総体報告会では、感謝の言葉がありました

僕はこれまでたくさんの方々にお世話になってきました。一番側についてくれたのはマネージャー。練習でドリントを作ってくれることはもちろん、体重の管理まで気にかけてくれます。

それから、レスリング部OB会の方々。差し入れをしてくださったり、大会後にバーベキューをしてくれたりします。してくださるたびに、「頑張れよ。」「勝つてよ。」と声をかけてくださいます。地域の方々も同じように「レス部に勝ってほしい。」という想いを伝えてくれます。

試合の前には、レス部や学校の仲間、保護者や応援してくださった方々の方を思い出して「絶対に勝とう」とマントに立つことができました。

◆これから中国大会、インターハイ、団体と続きますね

僕は、試験日(次の進路へ向けて)の関係があつて団体出場は難しいかもしれませんが、残り時間で後輩に何か残せるようにしていきたいです。そのためには、自分が何事にも率先して取り組むことが大切だと思います。自分の試合でない時は、仲間に声をかける。試合だけでなく、宿泊先でも恥ずかしくない行動をする。洗濯などの仕事も後輩やマネージャーだけに任せず自分も参加するようにする。「3



年生という立場の者でもやっている」という姿から何かを感じてもらいたい今よりもっと強い島前高校になってもらいたいです。

……
レスリング部は高校総体以降も朝練習に励んでいます。放課後も、中国大会やインターハイへ向けて練習しています。見学はいつでも歓迎しております。生徒と指導者が本気になる様子、是非一度、見に来てください!